

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：A組：柏木 関口

使用教科書：「地学基礎」（東京書籍）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 編1章 大地とその動き 【知識及び技能】 ・惑星としての地球について、地球の形と大きさ、地球内部の層構造、プレートの運動の事を理解させるとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・惑星としての地球について、課題を見だし見通しをもって実習などを行わせ、科学的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・惑星としての地球に関する事物、現象に主体的に関わらせ、科学的に探究しようとする態度を養わせる。	・指導事項 ①地学のむかしといま ②地球の形と大きさ ③地球内部の動きとプレート ④大地形の形成と地質構造 ⑤変成岩と変成作用 ・教材 教科書、ノート、プリント、スマートスクール端末	【知識・技能】 惑星としての地球についての観察・実習などを通して、地球の形と大きさ、地球内部の層構造、プレートの運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 惑星としての地球について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 惑星としての地球について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
1 編2章 火山活動と地震 【知識及び技能】 ・活動する地球について、火山活動と地震の事を理解させるとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・活動する地球について、課題を見だし見通しをもって実習などを行わせ、科学的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・活動する地球に関する事物、現象に主体的に関わらせ、科学的に探究しようとする態度を養わせる。	・指導事項 ①火山噴火の多様性 ②火成岩 ③地震の発生 ④地震が起こる場所 ・教材 教科書、ノート、プリント、スマートスクール端末	【知識・技能】 活動する地球についての観察・実習などを通して、火山活動と地震について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 活動する地球について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 活動する地球について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
2 編1章 地球の熱収支 【知識及び技能】 ・大気と海洋について、地球の熱収支の事を理解させるとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大気と海洋について、課題を見だし見通しをもって実習などを行わせ、科学的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大気と海洋に関する事物、現象に主体的に関わらせ、科学的に探究しようとする態度を養わせる。	・指導事項 ①地球大気と海洋の構造 ②地球の大気で起こる現象 ③地球の熱収支 ・教材 教科書、ノート、プリント、スマートスクール端末	【知識・技能】 大気と海洋についての観察・実習などを通して、地球の熱収支について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大気と海洋について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気と海洋について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
2 編2章 大気と海水の運動 【知識及び技能】 ・大気と海洋について、大気と海水の運動の事を理解させるとともに、それらの観察・実習などに関する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大気と海洋について、課題を見だし見通しをもって実習などを行わせ、科学的に考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大気と海洋に関する事物、現象に主体的に関わらせ、科学的に探究しようとする態度を養わせる。	・指導事項 ①大気や海水の運動の原因 ②大気の大循環 ③海水とその運動 ④大気と海洋の相互作用 ・教材 教科書、ノート、プリント、スマートスクール端末	【知識・技能】 大気と海洋についての観察・実習などを通して、大気と海水の運動について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実習などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大気と海洋について、問題を見だし見通しをもって観察・実習などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気と海洋について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

